

信頼できるメロキシカムブランドを 多くの獣医師が選択しています

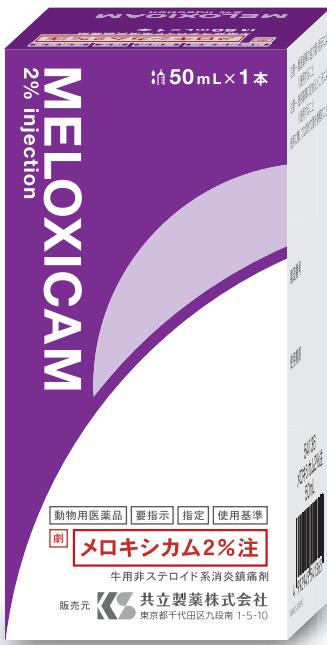
動物用医薬品 要指示 指定 使用基準

劇

メロキシカム2%注

牛用非ステロイド系消炎鎮痛剤

MELOXICAM 2% injection



point 1

開けやすいパッケージ

利便性を追求し、
ワンタッチでパッケージを開けられるようにしました。

point 1



point 2

簡単な単回投与

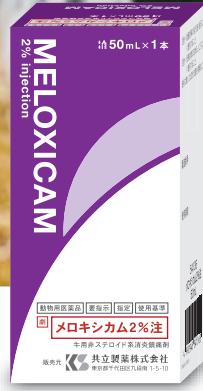
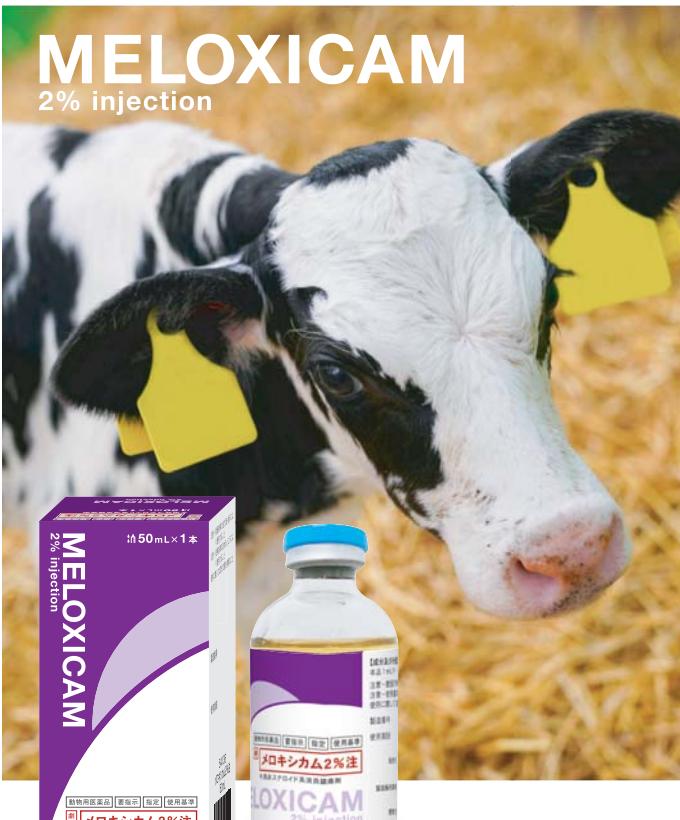
投与は1回の皮下注射のため、
牛への治療回数が少なく、
ストレスを軽減できます。

point 3

有効性と安全性

メロキシカムは選択的にCOX-2を阻害して
抗炎症作用が認められると共に、
安全性が確認されています。

50mL



動物用医薬品 要指示 指定 使用基準

劇

メロキシカム2%注

牛用非ステロイド系消炎鎮痛剤

【成分及び分量】 本品 1 mL 中

有効成分	含量
メロキシカム	20 mg

【効能又は効果】

牛の急性及び亜急性細菌性肺炎に伴う臨床症状の軽減。
子牛の感染性の急性下痢症に伴う臨床症状(活力、食欲、糞便性状、脱水及び体温)の軽減。ただし、補液を要しない程度の症例に限る。

【用法及び用量】

牛: 体重 1 kg 当たりメロキシカムとして 0.5 mg を
皮下に単回注射する。

牛の体重(kg)	投与量(mL)	メロキシカム(mg)
100	2.5	50
200	5.0	100
300	7.5	150
400	10.0	200
500	12.5	250
600	15.0	300

【使用上の注意】

(基本的事項)

- 守らなければならないこと
(一般的注意)
 - 本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
 - 本剤は、效能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
 - 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
 - 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意: 本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(牛)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

牛: 食用に供するためにと殺する前 18 日間
又は食用に供するために搾乳する前 132 時間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 使用期限を過ぎたものは使用しないこと。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 食品と区別して保管すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れる。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。なお、本剤の添付文書を持参することが望ましい。

(牛に関する注意)

- 本剤の投与により、注射部位に軽微な一過性の腫脹、硬結及び浮腫が観察されることがある。
- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱い上の注意)

- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は、使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高压蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。

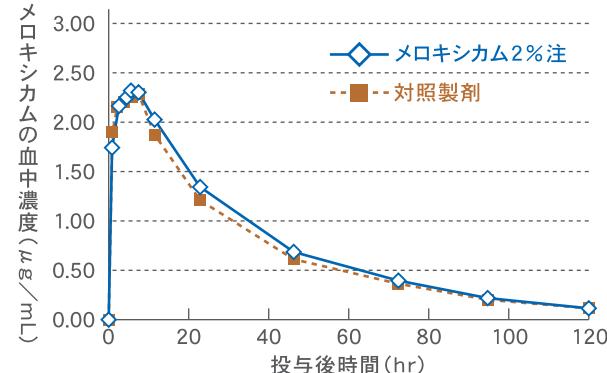
※ その他の注意については添付文書をご参照ください。

貯 法 | 室温保存、密封容器

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

メロキシカムはオキシカム系の非ステロイド系消炎鎮痛剤である。炎症性反応を引き起こすプロstagランシンの生合成を誘導するシクロオキシゲナーゼ(COX-2)を阻害することにより消炎鎮痛効果を発揮するが、従来の非ステロイド系消炎鎮痛剤に見られるような消化管障害、腎毒性等の副作用の発現が少ないという特徴を持つ。



メロキシカム2%注と対照製剤を、健常な牛(n=16)に単回皮下注射して血中メロキシカム濃度を測定し、得られた薬物動態パラメーター(AUC, Cmax)について統計解析を行った結果、両製剤の生物学的同等性が確認された。

【製品情報お問い合わせ先】 共立製薬株式会社 学術 〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目11番5号 TEL:03-3264-7559